

七福タオル株式会社

製造時に発生する「染色残糸」だけを用いた商品開発や「捨て耳」の個人向け販売等を通じて、廃棄されていた資源の用途拡大を推進

概要

同社は、タオルの製造（製織、縫製）、小売を手掛け、蓄積した技術と多彩な素材を生かしたタオル製品を展開。



社内には資源を大切に扱う意識が浸透しており、製造工程で発生する余剰の「染色残糸」や端切れ「捨て耳」の有効利用を推進。 Good!

また、余剰商品は顧客への買取り提案や福袋として安価に販売する等、これまで廃棄処分していた商品を削減。更には工場内で発生する綿埃を一括回収して、製紙メーカーでサーマルリサイクルに利用。これら取組により、タオルの製造時に発生する廃棄物をほぼゼロに。



取組ポイント

廃棄されていた資源の用途拡大

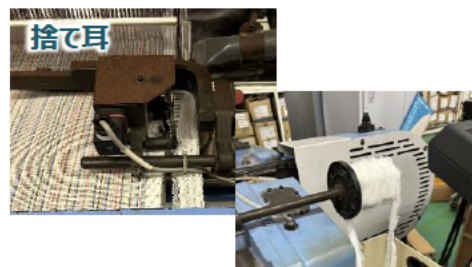
【染色残糸】

製織工程では、織る際の誤差を考慮して、少し余裕をもって多めの染色糸が必要。加工後に残った「染色残糸」は廃棄せずに、残糸だけを利用してミックスカラーのタオルを商品化。価格も安く抑え、使用する残糸により柄が変わり同じ配色がないことも好評。



【捨て耳】

タオル製織時に切り落とす両端の細長い端切れ「捨て耳」が約5kg/日発生し、従来は焼却処分されていた。布編み作家との出会いをきっかけに、「捨て耳」の吸水性や、ボリュームのある細長い形状を生かすことで玄関マットやスリッパ等の材料として手芸愛好家に販売。



現在は、紡績会社で発生する糸くず等を利活用した商品開発を検討中。

企業情報

- ・事業内容 タオル製品製造及び販売
- ・所在地 愛媛県今治市富田新港1-2-2
- ・電話番号 0898-36-6020
- ・ホームページ <https://www.shichifuku-towel.co.jp/>

